

県下の交通事故 (6月21日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
62年	2,127件	37人	2,869人
63年	2,241件	57人	2,883人
比較	+5.4%	+54.1%	+0.5%



◇ 第80号 ◇

発行所  
甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人 山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 37-7827

# 夏の交通事故防止県民運動

## 7月21日～8月31日

### 甲斐路で示そう交通マナー 安全運転を励行しよう

夏の交通事故防止県民運動は、夏の行楽シーズンと児童、生徒の夏休みが重なり、季節的に交通事故の多発が予想されることから、すべての県民を対象に交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図る目的で、七月十一日から八月三十一日まで実施されます。本年は前年に比して交通事故死傷事故が増加し、これに歯止めをかけるためにも県民総ぐるみの運動が期待されます。交通安全対策本部が決められたおもな実施事項は次のとおりです。

#### 子供と高齢者の安全を

歩行者・自転車利用者  
特に子供と高齢者の交通安全

とび出し、車の直前・直後の横断などによる交通事故を防止するために

- 一 子供
  - (一) 家庭における夏休み中の交通安全話し合いの活発化
  - (二) 学校職員による夏休み中の安全指導の徹底
  - (三) 子供と母親の交通安全教育の推進
  - (四) 早朝ラジオ体操等の機会を利用した交通安全一一口広報の推進

二 高齢者

- (一) 高齢者交通安全クラブの結成
- (二) 老人クラブ等の安全活動の日常化の徹底
- (三) 高齢者の特性に応じたきめ細かな交通安全教育の徹底
- (四) 自転車の正しい乗り方の指導(横断は一時停止、並進をしない)

三 運転者(特に若者の二輪車運転者)の安全運転の徹底

- (一) 正しい交通ルールの実践といわゆる、飲酒運転による交通事故を防止するため、無謀運転による交通事故
- (二) 二人乗りをしない、信号を守る
- (三) 点検整備等の指導の徹底
- (四) 違法駐車、放置防止のための指導の徹底

四、二輪車販売店等での安全指導の徹底

- (一) 安全運転の励行(安全速度を守る、カーブ交差点での徐行、飲酒運転の絶対禁止、歩行者の安全確保)
- (二) ゆっくり走ろう。思いやり運転の励行
- (三) 家庭、地域、職場ぐるみによる無謀運転の追放
- (四) ゆとりある運転の励行
- (五) 睡眠不足などによるいびり運転の防止
- (六) ゆとりをもったレジャー等の計画設定と安全速度での走行
- (七) 若者に対する交通安全指導、教育の強化と社会的責任の自覚の徹底
- (八) 二輪車の特性を知った正しい乗り方の指導
- (九) 二輪車販売店等での安全指導の徹底

五、若者層の「交通安全クラブ」結成の推進

- (一) 正しい方法によるシートベルト・ヘルメット着用の徹底
- (二) 交通事故発生時の被害軽減と安全意識の高揚を図るために
- (三) 着用効果と正しい着用方法の指導強化
- (四) 非着用に対する指導・取締りの徹底
- (五) シートベルト・ヘルメット着用用の「モデル地域」の指定を中心とした地域ぐるみ着用運動の推進
- (六) 家庭、職場における着用の徹底強化
- (七) 暴走族追放運動の推進
- (八) 地域ぐるみ職場ぐるみで暴走族を追放するために

六、未成若者に不必要に大きな二輪車を買いたえない等家族での話し合い

- (一) 家庭、学校、地域及び職場等から不正改造車等整備不良車の追放
- (二) 暴走族が集りやすい場所、広場の管理の徹底
- (三) 暴走族追放三原則「しない」「させない」「許さない」の徹底
- (四) 暴走行為を見たら「一〇番通報」など地域ぐるみでの追放の推進
- (五) 暴走族追放決議や宣言の採択による暴走行為を許さない世論の醸成
- (六) 市街地・観光地等における交通渋滞の解消
- (七) 交通事故や交通渋滞のな「さわやか交通山梨」の実現のために
- (八) 交通情勢に対応した交通規制の実施
- (九) 違法駐車等の排除気運の醸成
- (十) ふれあいの山梨・ノーマイカー運動の推進
- (十一) 道路交通に関する情報の提供と広報活動の強化



花まつり交通安全パレードの小笠原幼稚園児たち



交通事故は、道路環境・交通状況の多様化などを背景に、この数年に全国で死者数が九千人を突破し、第二次交通戦争といつてもよいような憂慮すべき事態にあります。

本県においても、この数年、目標とする交通事故死者数二桁台は達成することができませんでした。当市川交通安全協会の管内でも、昨年は関係機関、団体等の皆様の努力にもかかわらず五名の尊い命が奪われ、一昨年は四名も上回る結果でありました。

本年五月末現在、県下ではすでに昨年より十三名も多い四十六名の交通事故死傷事故が発生しています。幸い、当協会管内におきましては、交通事故死傷事故の発生はゼロという成果であります。これは昨年実施した交通安全防止のための諸施策が本

年多くあつて、今後これないかと思つて、最近の交通事故死者数の増加要因を見ますと、二輪車事故と、高齢者の加害被害事故の増加であると思われ、若年者による自動二輪車乗車中および高齢者の運転中あるいは歩行中等の交通事故死傷事故

その一つは、若年運転者対策であります。昨年、当協会管内においては四件五名の交通事故死傷事故が発生しましたが、二名は若年者でしたが、事故原因は、いずれもスピードの出し過ぎによる路外逸脱で、石垣に衝突あるいは湖に転落した自爆型事故でした。

### 若年者と高齢者の交通事故防止対策

市川交通安全協会会長 八木 吉治



現在の若年者社会に育つた若者達は自動車に強い関心を持って交通安全活動への参加を希望しています。このような強い関心を持つ時期の若者運転者に対しては、職域、地域、学校等において関係機関等が各種講習会や技能講習を反復して行う必要があります。当然、各地域に居住し

安全を確保するには、地域及び家庭において高齢者に配慮した交通安全活動を推進して行く必要があると思つています。高齢者の場合は、過去の事故例から正しく歩行や横断の方法等についての知識のみならず実際に慣れさせる必要を痛感しています。これを実践するためには各家庭における反

### 交差点

◇今年、五月五日の「こどもの日」が立夏。また、厳しい暑さがやって来るかと思うとうんざりするが、変化する四季に恵まれ折々の楽しみも多いことです。初夏を迎え、わらび、たらの芽、ふき等季節の山菜を味わうことも出来て自然の恩恵をしみじみかみかみしています。調査統計の公表によると、わが山梨は日照時間が全国一、森林面積比率や自然公園の割合面積も上位にあり、緑と太陽に恵まれたすばらしい環境と恵まれました。自然環境を大切にしながら豊かなふるさとづくりができることを期待したいものです。

◇今年、青函トンネルが開通、本州、四国を結ぶ瀬戸大橋も開業し、日本列島が「陸路」で結ばれた新時代の幕明けとなりました。本州と九州をつなぐ海峽道路関門トンネルは昭和三十三年三月開通し満三十歳を迎えました。この本州と北海道を結ぶ世界最長の青函トンネルが着工以来二十四年ぶりに三月十三日開通し、また、本四連絡橋の一番手として九月六月の歳月をかけてつくれた児島・坂出ルート、瀬戸大橋が四月十日道路・鉄道併用橋として開業し、本四間が車や列車で十分ならず走り抜けるようになりました。列島が陸路で結ばれた意義は大きく、地域間交流はさらに活発になり、経済活動や交通関係に大きな変化をもたらすものと思つています。◇ここ六年続いで百人をこえていた交通事故死者を減少させたことと願っています。が、今年も前年を大幅に上回るペースで死亡事故が発生しています。その原因は無謀運転や一方的過失の自爆型事故が目立っています。行楽期を迎えて事故の多発が心配です。ドライバーは始め交通安全の一人ひとりが改めて生命の大切さを自覚し「安全の心」をもつことが大切です。



# 雨の日の高速走行

高速道路交通警察隊

副隊長 今村 誠

ひと雨十件、ひと雪三十件。山梨県内の中央自動車道では、一回雨が降ると十件以上、一回雪が降ると三十件以上の交通事故が発生しております。

## 交通教室

それで隊員仲間では、このような言葉が生まれました。雨が降りだすと「雨だぞ、事故に備えろ」ということで、パトカーを動員して本線上の警らに出発いたします。降りだして三十分もすると、あちらこちらで事故の発生が本隊へ通報されてきます。その内容は、雨で路面が濡れているのに、急ハンドル

### ハンドル切るな ブレーキ踏むな ＝シートベルトは必ず着用＝



高速道 暴走の果てに……

路側のガードレールに衝突するといったものです。雪の日の事故は、スパイクタイヤの過信が多いようです。

スパイクタイヤの効果については私が説明するまでもありません。事故防止に大きく寄与しているところですが、絶対ではありません。ところが、スパイクタイヤさえ装着していれば、どんな雪道でも絶対に事故を起こさないと、安全であると思っている人が多すぎます。

ですから、雪道でも平気で晴天時と同じような高速で走っています。そして、前方に危険があったときに急ブレーキを踏むものから、ひっくり返ったり、ガードレールに衝突したりします。

昨年の十二月の雪の日、大月市の中央道で一台の車がスリップして横向きに止まったところへ後続車が高速で走っていたため避けきれず、二十台近くの車が次々に衝突し、十数人の人がけがをする事故が発生しました。

高速道路を利用する方は、高速運転の技術を見つけていたいただきたいと思えます。雨の日の安全な運転のしかたについてお話しします。雨で怖いのは、ハンドルを切りながらブレーキを踏むことです。

高速道路の路面は、かなり平坦に整備されていますが、交通量の増加とともに雪の日の事故は、スパイクタイヤの過信が多いようです。雨水がたまって、大型車が水しぶきをあげます。この水しぶきがフロントガラスへ飛び散ると、なれない運転者は必ずといっていいほど急ハンドルを切って避けます。ところが百キロ近い速度がでているとほんのちよつとハンドルを切っただけでもその向き方は二倍にも三倍にもなってしまう。車体は大きく傾いてローリングします。この時、アクセルを離して小刻みにハンドルを振って車の体勢を立て直せばよいのですが、これできません。あわてて反対側へハンドルを切りながら、急ブレーキを踏むものから、ひっくり返ったり、ガードレールに衝突したりします。車の横転したり、すっかり安定を失ってガードレールに衝突する結果となります。

### 道路環境の改善で 交差点事故防止を

小笠原交通安全協会

小笠原警察署管内の交通事故は、過去十年間で最悪を記録した。昨年の発生件数二六二件を上回る勢いで多発傾向をつづけています。特にその中でも目立っているのが交差点における出頭衝突や全事故のおよそ半数を占めている状況です。

この地方は、県下でも有数の果樹園地帯で、農園地帯を縦横に伸びる農道が無数に交差しており、折からの緑葉と相まって左右の見とおしを極めて困難にしています。このようなことから小笠原交通安全協会各支部では、見とおしを妨げる枝木の伐採や安全確認位置を明示したライン標示等を行って道路環境の整備改善を図り、事故多発傾向に歯止めをかけることにしています。



停止ラインを標示する安協役員 (小笠原)

### 作文コンクール

我が家の交通安全、募集

本年も交通安全家族会議の交通安全作文「我が家の交通安全」が募集されます。今回は、家族の話し合いのほか学校、職場、地域にわたって話し合いも加えた作文を募集します。おもな応募要領は次のとおりです。

#### 一 作文の題材

我が家の交通安全  
交通安全をなくすためには、国民一人ひとりが交通安全意識を高め、正しい交通ルールと交通マナーを実践することが必要です。そのためには、歩行者、自転車利用者、バイク利用者、ドライバー等、それぞれの立場にある家族の皆さんが、折りにふれ、機会にふれ、身近な交通安全の問題について考え、話し合うことが大切です。

みなさんご家族や学校、職場、地域において交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどについて作文にしてください。

#### 二 応募期間

昭和六十三年七月一日から同年九月二十日(消印有効)まで

①小学校低学年の部(一、二年生及び二年生)  
②小学校中学年の部(三、四年生及び四年生)  
③小学校高学年の部(五、六年生及び六年生)

④中学生の部  
⑤母親・一般の部

④中学生の部 (1)小学生の各部及び中学生の部  
▽四〇〇〇字詰原稿用紙三枚以内  
▽作文には、内容にあふふしい題をつけてください。また、応募作品には、応募区分、住所・郵便番号、氏名、学校名、学年、学校所在地・郵便番号を明記してください。

### 道路使用許可の 調査、確認等業務を開始

道路使用適正化センター

道路の舗装や水道、電気、ガス等の地下埋設に伴う道路工事の実施について、安全で許可条件どおり適正に行われているかどうかを調査するための業務が、ことし四月から山梨県警察本部より山梨県交通安全協会に業務委託され、協会内の「山梨県道路使用適正化センター事務所」で工事等の現地調査や交通規制、駐車等に対する広報、照会、相談等を行うことになりました。

この道路使用適正化センターは昨年四月、道路交通法の改正に伴い各県に設置されたもので、本件に設置された甲府警察署の二階に事務所を開設し、職員六名で業務をはじめました。

富士吉田警察署管内、となっており、以後順に拡大していく予定です。そのほかにも、  
三、道路における駐車、交通規制、道路使用に関する広報の実施、照会、相談に際すること。  
四、道路における適正な車両の駐車及び道路使用についての啓発活動を行うこと。  
五、パーキング・チケット発給機の運用管理。  
も業務の内容となつていきます。県民の皆さんには、これを利用していただくとともに、ご協力をお願いいたします。――事務所の電話番号は、〇五五二一三三三―三三三三、内線四四四番です。

★改装した新しい広いコースで、  
全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を!  
早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を!

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

## 公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828  
TEL (0552) 85-0752



黄色い羽で安全を呼びかける望月知事



河口湖畔で街頭指導所開く(富士吉田)



交通安全・甲州軍団がパレード(韮崎)



一日署長に松姫さんを委嘱して出発式開く(甲府)



親子安全ウォーキングで広報(上野原)



交通安全モデル幼稚園フェスティバル開く(韮崎)

### 地区だより

## 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は、例年どおり四月六日から十五日までの十日間行われ、県内でも事故減少をめざして県民あげて運動に取り組まれました。

期間中の交通事故は、発生八十九件、死者二人、傷者百十六人で前年同期に比し、死者四人減のほかに、傷者も大幅に減少し、一カ月余遅れて行われた昨年春の

運動と比較すると、死者は同数で件数、傷者は増加しています。

年初からの交通事故をみると、発生件数、傷者の増加とともに死者数が大幅な増加を続け、その内容は、自爆型事故や若者と高齢者の死者が多く、歩行者の被害も急増しています。

これからの事故減少を期すためには、運動期間中の安全活動の一端を写真で紹介いたします。

## 二輪車の事故防止を図る

県二輪車安全運転推進委員会は、四月二十七日、ニュー機山で関係者十七名が出席して委員・幹事合同会議を開きました。会議では、昭和六十二年度事業報告と六十三年度事業計画を審議し、今年度も高校生・二輪車安全運転講習・原付技能

講習・二輪車安全運転大会等を実施するとともに、昨年からの自動二輪車安全運転講習を効果的に推進することなどを決定しました。また、県警交通安全課長から増加する若者等の二輪車事故の概況説明を受けて、街頭指導の強化をはじめ若年運転者対策、交差点の事故防止対策、二輪車販売店の店頭指導の強化など積極的な事故防止に取り組むことになりました。

## あなたも写真を

### 第22回交通安全写真コンテスト募集要綱

県安協では、県警本部等の後援を得て第二十二回交通安全写真コンテストの募集を、次のとおり行います。

◇趣旨  
交通安全の写真を通じて、交通安全問題に対する理解と関心を高めるとともにこの写真を用いて展示会を開催するほか、ポスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓蒙指導に資するため。

◇題材  
一般的に交通安全の場面を撮影したもの(道路交通の状況、よい交通、悪い交通、交通安全教育、交通安全施設、交通安全運動、その他交通安全活動の状況等)および交通安全現場の状況を撮影したもの。

◇印刷  
白黒またはカラープリン

◇サイズ  
白黒、カラーとも四ツ切り

◇締め切り  
昭和六十三年八月三十一日

◇送り先  
甲府市丸の内一丁目六一(〒4000000)  
財団法人山梨県交通安全協会 電話〇五五二(三三)七八二七

◇発表  
昭和六十三年九月下旬

◇審査員  
主催者、後援者の委員および主催者の委嘱する写真専門家

◇賞  
最優秀賞一名、賞状、賞金二万円  
優等賞四名、賞状、賞金一万円  
銀賞四名、賞状、賞金七千円  
銅賞七名、賞状、賞金五千円

佳作若干名、賞金三千円

◇応募規定  
①応募作品は未発表のもので、他に発表予定のないものに限り、撮影の時期は問わない。  
②応募作品には必ずネガを添付すること。ネガのないものは入賞することはできない。  
③応募作品およびネガは返却しない。  
④応募作品の著作権は主催者に帰する。  
⑤応募作品の裏面には必ず応募票をはり、次のことを記入すること。住所、氏名、題名(事故写真については事故原因)

締め切りは 8月31日

## 「うっかり失効」増える

### 免許証を大切にしましょう

本県の運転免許保有者数は、本年四月末で四三八、四七〇人となり、総人口当りの保有率は五二・七〇%で、県民の一・九二人に一人が免許証を保有していることになり、県民皆免許時代を迎えております。

自動車の普及は今や県民の足となり、運転免許証は日常生活に欠くことのできない大切なものとなりました。

自動車を運転する時は、運転免許証の携帯が義務づけられておりますが、この大切な運転免許証を紛失してしまう方が最近増えています。

昨年一年間に免許証を紛失して再交付を申請した方は四、八六四人で前年に比べて二〇六人増えています。

一番多いのは紛失の三、五四七人、二番目は盗難の六七八人、三番目は破損の三八人となっております。

運転免許証を紛失しますと、自動車等の運転が禁止されるほか、免許証再交付の申請をして新しい免許証が交付されるまで時間的、経済的な負担が生じ、日常生活に大きな障害となり、また免許証の偽造変造等の犯罪に悪用されるおそれがありますので運転免許証は紛失しないよう大切に扱って下さい。

なお、うっかりして免許の更新を忘れて「うっかり失効」する方も増えておりますので誕生日が近づいたら免許証の有効期限を確認しましょう。

(運転免許課)

## パーキング・チケットをご利用ください。

《設置場所》甲府市朝日町通り・甲府市役所北側通り

●運用時間  
午前9時から午後7時

●駐車可能時間  
40分以内

●チケット発給手数料  
200円



●この道路標識のあるところでは1回に限り、40分間駐車できます。

●この表示板のあるところに発給機があります。

- 標示線(駐車枠)の中に入らない駐車
  - チケットの発給を受けなかった駐車
  - チケットを前面の見やすい箇所に掲示しない駐車
  - 制限時間(40分)を超えた駐車
- は、違反となります。

⑥審査は交通安全思想の高揚に役立つものおよび写真技術等を重視して行う。

◇主催  
財団法人山梨県交通安全協会

◇後援  
山梨県警察本部  
山梨日日新聞社  
山梨県交通安全母の会連合会

自転車の正しい乗り方とTSMマークの貼布推進

自転車安全教育推進委員会は、五月十二日、ニュー機山で本年度初の委員・幹事の合同会議を開きました。会議には関係者十六名が出席し、昭和六十二年事業報告、六十三年度事業計画などを審議決定しました。

とくに県内で低調な自転車の保険付TSMマークの普及の徹底と貼布を強力に推進し、また、軽車両である自転車の正しい乗り方を周知して自転車事故を防止することにしました。